

環境報告書

'23.6.5

総務部

部長

'23.06.05

今村

2022年度の実績

1. 環境方針、環境目的及び目標の達成状況と順守評価

1) 法的及びその他の要求事項の順守評価の結果

(1) 公害防止協定の測定・報告⇒計画通り実施、問題無い事を報告済み

(2) 行政への報告⇒特になし

(3) 重要な環境側面の管理

・し尿浄化槽、構内放送、エアコン、排風機、切屑ホッパー、調整池、油倉庫、コンプレッサー、オイルコン高周波焼入れタンク、焼入れ機、洗浄機、高速切断機、高速切断機、せん断機他⇒異常なし

2) 苦情を含む外部の利害関係者からのコミュニケーション

(1) 地域住民との融和

① 学童通学時の交通安全指導・・・ゼロの日に年間12回実施

② 工場見学等の受入れ・・・日進高校工場見学／インターシップ 名古屋商科大学11名

③ 工場周辺清掃・・・毎月1回、年間12回実施

④ 地域イベントへの参加・・・日進ゴミゼロ運動、各種地域お祭り協賛、愛知池マラソン大会協賛他

⑤ 地域行政への参画・・・日進市総合戦略委員会、日進市地球温暖化対策地域協議会、少年少女発明クラブ

日進環境基本計画策定委員会、いきいき健康プランにつきん21推進委員会

につきん観光まちづくり協会、愛知地区工場防犯協会、愛知安全運転管理協議会



(2) 利害関係者からの苦情:なし

3) 環境パフォーマンス・目的及び目標の達成状況

(1) 使用エネルギーの削減

・・・CO2排出量9,336tCO2(目標)に対し7,243tCo2(実績)で達成

(2) 資源の節約

・・・器具備品費、工具費目標達成

(3) 廃棄物の削減とリサイクルの拡大

・・・ゴミ、廃油目標達成

(4) システムの有効性確認

・・・CN(カーボンニュートラル)を切り口に内部監査を1度(12月)実施

(5) 前回までのマネジメントレビューの結果に対するフォローアップ実施

(6) 改善のための提案

・・・日々のトップマネジメントでフォロー実施

(7) その他(方針、目的・目標の変更等) ...特になし

次年度への課題

1. 環境マネジメントシステムの妥当性・有効性

・・・各会議体を通じて確認、フォローを実施している。監視・測定での不適合もなく、EMSが良好に機能していると判断する。

2. 継続的改善の機会

・・・TPS手法による「ものづくり改善活動」を継続し、現状把握の徹底追求による課題解決を推進する。

3. 資源を含むEMS変更の必要性

・・・カーボンニュートラルに向けた体制構築と各施策の組織的活動によりSBT認証取得を進め、省エネ目標を達成する。

4. 環境目標の達成

・・・法規制の順守、苦情ゼロへの継続的な取り組み
ゴミ、廃油の目標達成のために、分別を徹底しリサイクルを増やす。

5. 戦略的な方向性

・・・23年度は「経営改革の加速」を目指す活動を推進し、アーキテクト思考によるSDGs課題達成を通じ、社会課題を解決する会社を目指す。

2023年度の計画

1. 生産性の向上

・・・生産性6%向上

2. 法規制の順守

・・・「届出」「報告」「測定」「許認可」業務の順守

3. 重要な環境側面の管理

・・・水質汚濁・騒音・廃棄物処理等の日常管理充実

4. 使用エネルギーの削減

・・・動力費3%低減、CO2の排出量削減

5. 資源の節約・廃棄物の削減

・・・工具消耗品費3%、修繕費3%低減

・・・廃油3%、ゴミ3%削減、CO2排出量削減

6. 地域社会との融和

・・・地域社会行事への積極的な参加

とし、具体的には各部署のAPW計画にて明確にする

以上